

## 令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こめたに ゆうすけ	
氏名	米谷 雄介	
所属・役職	香川大学 情報化推進統合拠点 准教授	
活動拠点	香川県、その他	
略歴	<p>2014年 東京理科大学大学院 工学研究科 博士後期課程 経営工学専攻 修了 博士（工学）（東京理科大学）</p> <p>2014年 早稲田大学人間科学学術院 助手</p> <p>2017年 北九州市立大学情報総合センター 助教</p> <p>2017年 香川大学総合情報センター／工学部 助教</p> <p>2018年 香川大学創造工学部／総合情報センター 助教</p> <p>2020年 香川大学創造工学部／情報メディアセンター／DX 化技術支援室 助教</p> <p>2021年 香川大学創造工学部／情報メディアセンター 講師</p> <p>2022年 香川大学創造工学部／情報メディアセンター 准教授</p> <p>2023年 香川大学情報化推進統合拠点／香川大学創造工学部 准教授</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>(分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報化全般</li> <li>・安全安心まちづくり（生活安全、交通安全、災害安全、労働安全）</li> <li>・地域コミュニティ活性化（コミュニティバス運営、地域イベント支援など）</li> </ul> <p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システム全般</li> <li>・位置情報サービスの開発（GPS、近距離無線通信（Bluetooth LE、NFC））</li> <li>・デジタルプレイスメイキング（生活・観光・学習体験向上に資する AR/VR 活用）</li> <li>・EBPM（交通政策最適化に活用可能なオープンデータ設計など）</li> <li>・画像解析（AI を活用した人物検知、姿勢推定など）</li> </ul>	
専門分野	<p>オープンデータ人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 自治体システムの標準化・共通化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム スマートシティ</p>	
自治体向けメッセージ	<p>モノのインターネット（Internet of Things; IoT）、人工知能、AR/VR、5Gなどのデジタル技術を活用した地域課題解決に資するデータ利活用サービスの研究開発に取り組んできました。これまでの研究成果を基にデジタル技術の「ハンズオン」を展開し、自治体や地場産業のニーズを引き出し、地域のDXを進めるお手伝いしたいと考えています。</p>	

<p>関連サイト</p>	<p>■ 香川大学 創造工学部 教員紹介  <a href="https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20697/staff0173-2/">https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/introduction/staff/20697/staff0173-2/</a>          ■ Researchmap  <a href="https://researchmap.jp/7000007507">https://researchmap.jp/7000007507</a></p>
<p>地域情報化に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>2014 年 早稲田大学人間科学学術院 助手          2017 年 北九州市立大学情報総合センター 助教          2017 年 香川大学総合情報センター／工学部 助教          2018 年 香川大学創造工学部／総合情報センター 助教          2020 年 香川大学創造工学部／情報メディアセンター／DX 化技術支援室 助教          2021 年 香川大学創造工学部／情報メディアセンター 講師          モノのインターネット（Internet of Things; IoT）、人工知能、AR/VR、5G などのデジタル技術を活用した、地域課題解決に資するデータ利活用サービスの研究開発に取り組んでいます。</p> <p>2018 年-2019 年 一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団 産業・学術部門助成「対話データ収集機能を有するバーチャル観光プラットフォームの開発」研究代表者</p> <p>2019 年-2020 年 四国情報通信懇談会 令和元年度調査研究事業「地域オープンデータの情報セキュリティ基盤構築に向けた AI カメラセンサー・ポッド/FIWARE によるデータ収集システムの実用性評価」研究代表者</p> <p>2020 年-2024 年 科学研究費補助金 若手研究 20K14084「大学の異分野連携機能・地域連携機能を強化する仮想コワーキングスペースの開発」研究代表者          これら以外にも、企業・自治体との豊富な共同研究実績を有します。</p> <p>これまでの関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>研究開発を通じて蓄積されたノウハウを活かし、地域課題の解決に取り組む地域の DX 人材に向けた、デジタル技術の活用をサポートする人材育成プラットフォームの整備や産学官民連携を促すイノベーションプラットフォームの整備に関わってきました。</p> <p>[地域の人材育成プラットフォームの整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松市が運用するスマートシティ向け IoT 共通プラットフォームの活用講座の講師</li> <li>・「IoT 共通プラットフォーム活用ハンズオン講座・意見交換会」（業務受託者：日本電気株式会社）</li> <li>・IoT データプラットフォーム FIWARE（欧州標準）を活用した国内初のデータ利活用人材育成プログラム「まちのデータ研究室」の講師、運営、教材コンテンツ作成、演習環境の構築</li> <li>・Web×IoT メイカーズチャレンジ（総務省主催）におけるハンズオン講習会講師</li> </ul> <p>[地域の産学官民連携を促すイノベーションプラットフォームの整備]</p> <p>四国情報通信懇談会「5G 利活用部会」部会長，2020 年 6 月-現在          高松市「スマートシティたかまつ人材育成環境向上 WG」代表者，2019 年 5 月-現在</p>